

町政一般質問通告一覧表

平成30年3月定例会

平成30年3月6日

番号	質問事項 (件名)	質問の要旨	質問の相手	議席番号 氏名	
1	庁舎整備事業について	① 本町の庁舎は、現行の耐震基準以前の構築物でありIs値も0.19となっている。また、耐用年数50年を間もなくむかえる。早急に方針を示すべきと思うが、何時までに示されるのか伺いたい。	町長	7番 平田 康範 (一問一答)	
		② 庁舎整備は、町民の理解が求められることから意見を幅広く聴くための検討委員会を設置する必要があると思うが、どのような見解をお持ちか伺いたい。			
		③ 庁舎整備基金を新設することについて、どのような考えか伺いたい。			
	農業振興と鳥獣被害対策について	① 中山間地域が多い本町は、集落や農地の実態に即した農地利用の農家が多いが、今後の農業振興策について伺いたい。	町長		
		② 担い手となるリーダーの育成をはじめ、農地の集約化、農業機械の共同化などに取り組むことができる集落営農組織を設立したらどうか。			
		③ 地域おこし協力隊の現況と今後の受け入れ態勢について伺いたい。			
	④ 近年、イノシシ被害に加え野生化した鹿が一部の地域に出没している。鳥獣被害対策を長期的な視点から効果的に進める為、関係者が連携・計画的・継続的に取り組む組織として、佐々町特定鳥獣被害防止対策協議会(仮称)を設立したらどうか。				
2	農林業政策について	① 農林業政策として各種の産物振興に補助を凶っているが、成果を伺いたい。	町長 関係課長	8番 須藤 敏規 (一問一答)	
		② 林業公社貸付金の状況と今後の考え方			
		③ ながさき森林環境税の納付状況、活用状況			
		④ 国が予定している森林環境税(仮称)での林業振興策			
		⑤ 30年度予算の農林業政策を伺いたい。			
	教育行政の推進について	新学習指導要領改訂(小学校)について			町長 教育長 関係課長
		① 教育委員会での協議状況			
		② 確実な実施に向けて特例が定められたが、移行期間の検討状況			
		③ 保護者への周知について			
		④ 教職専門者の研修について			
	⑤ 保育現場の英語活動との関係をどのように捉えているのか。				

番号	質問事項 (件名)	質問の要旨		質問の相手	議席番号 氏名
	3	子育て応援、教育環境整備について	①		小中学校施設整備構想の検討状況について、公共施設等の総合管理計画にどう反映されているか。
②			小中学校普通教室のエアコン設置・トイレの改修の取り組み状況について。		
③			就学援助制度の周知について、前回議会以降の検討状況について。		
国保税引き下げについて		①	国保都道府県単位化に伴う、町民への影響と対策、今後の取り組みについて。	町長	
		②	国民健康保険税の引き下げに向けてどのような取り組みを進めていくのか。		
		③	資格証明書発行・国保法44条減免の要綱整備について、前回議会以降の取り組み状況。		
玄海原発再稼働への対応について		①	原子力防災について、計画の見直し検討はどう進められているか。	町長	
		②	町として自然再生エネルギーの普及に向けて、どのような政策を持っているか。		
		③	玄海原発再稼働の動きが止まっていない中で、あらためて町民の意見を聞く考えはないか。		
町政への民意の反映について		①	町の事業に対する地元の意見集約のあり方について、現状認識を問う。	町長	
		②	意志決定の見える化について。		
4		今後のし尿処理事業について	①	北松南部清掃一部事務組合のし尿処理施設が閉鎖してからの現在までの佐々町としての協議・検討はどうされたのか。	町長
	②		事前に皆様と協議したい、地元の皆様に丁寧な対応をしていくとしてあったが、地元には入られていない。何故か。		
	③		検討がどのようになされたのかよくわからない。結論に至った経過が不明なので議論の見直しを求めていくと考えており、納得のいく説明を求める。		
	④		し尿処理の民間委託契約の検討に係る経費について。		
学校給食センター建設について	①	施設の老朽化、アレルギー対応等の課題解決のため、給食センター調理方式へ移行との考えを示されたが、協議・検討はどうされたのか。方針決定はいつなのか。	町長		
	②	学校給食センター建設事業に係る今後のスケジュールについて示されたい。			

番号	質問事項 (件名)	質問の要旨	質問の相手	議席番号
				氏名
5	まちづくりについて	町長は、総合計画の後期計画の中で、まちづくりの軸として親水軸（佐々川）をあげられ、「佐々川の豊かな自然環境を保全するとともに、様々な自然体験のできる軸づくりを進めます」とあります。今年も春を告げるシロウオがのぼってきました。又、その春の終わりにはアユがのぼり、モクズカニ、うなぎがのぼってきて、秋には、大きく成長し佐々町に戻ってきます。この自然環境を町長はどう思われますか。又、まちづくりに生かす考えがあればお聞かせください。又、今年の小学校のアユの放流の計画はありますか。町長も一緒に参加する気持ちはないですか。小学生にとってはいい思い出になるかと思いますが。	町長	6番 橋本 義雄 (一括質問・一括答弁)
	地場農産物の活用について	近年、各地で地産地消の取り組みが行われています。地域で生産したものを地元で消費する取り組みで、安全安心の食材の提供と、何より生産者の意欲向上につながればと思うが、取り組む考えはありませんか。皿山直売所では給食などに野菜など納めておられますが、納入品目を設定し、本格的に取り組んだらどうか。佐々町の農家は米作中心の農家です。給食だけでなく、地域で地元の米を地元で消費する取り組みを考えたらどうか。	町長	
6	福祉保健政策の基本となる「地域福祉計画」の策定期間について	社会福祉法第107条及び第108条に規定されている「地域福祉支援計画」は、長崎県は「長崎県福祉保健総合計画」を5年毎に策定されている。「総合計画」の次に位置づけされる「地域福祉計画」は、全国的にも「市のレベル」は策定済みと聞いている。そこで、長崎県内の策定状況を知りたい。また、第6次佐々町総合計画にも記述がないが、「地域福祉計画」の策定はいつ頃予定しているのか。お尋ねしたい。	町長	2番 浜野 亘 (一問一答)
	皿山公園（西部自然公園）及び北部運動公園の整備方針について	皿山公園は、「西部自然公園事業」により平成5年8月に再整備されたが、ローラー滑り台等の遊具施設が老朽化等により危険な状態となり、ここ数年使用不能となって今年度に撤去工事を行っている。一方では、南部運動公園横に新たな公園「でんでんパーク」が整備された。また、昭和63年3月に完成した北部運動公園は、年々利用者が減少しているようであるが、利用状況を知りたい。皿山公園や北部運動公園の整備方針について問う。	町長 町教育長	
	農業体験施設（旧学童農園）及び古川岳遊歩道の維持管理について	昭和61年4月に学童農園としてオープンし、その後平成23年4月に名称を「農業体験施設」に改めているが、利用状況の推移を知りたい。建築から30数年経過しており、老朽化が心配される。また、佐々町の街並みを一望できる古川岳遊歩道は、長さ約3.3kmで昭和62年3月に完成して、こちらも30数年になる。擬木の手摺や階段の石が一部倒壊したり、雑木が遊歩道上に生えたりしているため、今後の整備方針について問う。	町長	